

## 「元気なプラナリア」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

3 月上旬に 6 年生の子どもからもらった 3 匹のプラナリア・・・その後も非常に元気である。元気というよりも、すごい繁殖力で日々増え続けている。

プラナリアといえば、切断や切れ込みを入れて、体が再生する実験で有名である。しかし、もらったプラナリアは、一回も実験に使っていない。つまり、勝手に分裂して増殖しているのである。もちろん世話はしている。週に 2 回ほど、理科室の学習支援員の院生さんが、豚レバーの小片を与えて、水替えもしてくれている。している世話はそれだけだ。

今は、大小合わせて 20 匹以上になった。分裂直後の個体は、顔(または尾)がない。しかし、例えば顔のない個体は、数日たつと透明な顔ができ始め、1 週間ほどで、眼もある完全な顔になる。驚異的な再生力だ。これからも観察を続けたいと思う。(つづく)



「自分で分裂した直後の個体」

これは尾がないほうの個体。この後、透明な尾が生えてきて、1 週間ほどで完全に再生する。

